

経皮カテーテル的大動脈弁植え込み術（Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI）後の再入院に関わる因子の検討

へのご協力をお願い

（研究目的）

経皮カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）を施行される方は、開胸手術を施行される方に比べ、高齢期に生理的予備能が低下し生活機能障害や要介護状態などの転機をたどるフレイルの割合が高いと報告されています。フレイルは術後の再入院に影響を与えるとされています。また認知機能の低下も術後の再入院に影響を与えるとされています。今回、当院でTAVIを施行された方の身体機能や認知機能が再入院に関わるのか調査を行なうことを目的としています。

（研究対象）

当院に経皮カテーテル的大動脈弁植え込み術目的に入院し、術前より心臓リハビリテーションの介入を行った方を対象とします。

（研究期間）

2021年8月1日～2023年8月1日

（研究方法）

後ろ向き研究でTAVI後に再入院した群と非再入院群の2群に分類し、再入院に関わる因子について調査します。Mann whitneyのU検定、カイ2乗検定および、重回帰分析にて再入院との関係を分析する予定です。本研究は後方視研究であり、通常診療において過去の試料を用いるため、侵襲を伴わず介入を行わない観察研究です。そのため、患者への負担はありません。本研究は人を対象とする医学研究に関する倫理指針に則り、あらかじめ情報を通知・公開し研究対象者等が拒否出来る機会を保障する方法とします。

（その他）

本研究は通常診療内で行われるため、研究に参加することによる患者の費用負担は発生しません。また本研究において利益相反状態はありません。

（問い合わせ先）

松江赤十字病院

<診療科>リハビリテーション課

<役職等>理学療法士 <氏名>須山朋子

電話番号 0852-24-2111（代表）

対応時間 平日 8:20～16:50